



第747回抄録委員会（12月1日）

本誌3月号・4月号に掲載する外国文献の抄録内容等について審議を行った。

配管設計講習会（関西会場：12月2日～12月4日、関東会場第2回：12月9日～12月11日、九州会場第2回：12月16日～12月18日）

水道事業体及び設計業者等の経験が少ない水道技術者の方々94名（関西会場30名、関東会場第2回32名、九州会場第2回32名）の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について研修を実施した。

水道技術管理者資格取得講習会（東京会場第3回：12月3日～12月23日）

水道法施行規則第14条第3号による登録機関として、8名の参加を得て、「水道行政・水道経営」、「水質管理・公衆衛生・衛生管理」、「水道基礎工学概論」、「水道施設管理」について15日間の学科講習を実施した。

なお、学科講習修了者は、この後に「水道施設の技術的基準を定める省令第5条」に適合する汙過設備を有する水道施設において、15日間の実務講習を行う。

第18回水道用薬品及び資機材の衛生性調査専門委員会（12月8日）

JWWA K103（水道用粉末活性炭）の中に参考として記載されている2-MIB 価測定方法について、測定条件の検討を開始した。

予備試験の結果の確認を行い、今後検討すべき測定条件について意見交換を行った。それらの意見を基に事務局にて検討事項を精査し、各委員に送付することで了承した。

第155回水道 GLP 認定委員会（12月15日）

水道 GLP 認定について、株式会社環境総合リサーチ中部事業所（JWWA-GLP145）が新規認定検査機関として審議され決定された。

また、認定更新検査機関として高知市上下水道局（JWWA-GLP085）と大津市企業局（JWWA-GLP125）が、認定維持検査機関として公益財団法人秋田県総合保健事業団（JWWA-GLP112）と株式会社太平環境科学センター（JWWA-GLP114）が、それぞれ審議され決定された。

水道施設耐震技術研修会（東京会場：12月16日～12月18日）

水道施設の耐震設計業務等に携わる方々22名の参加を得て、「水道施設の耐震化の概要」、「水道施設の耐震設計の基本事項」、「水道施設の耐震設計方法」、「施設別の耐震設計」、「水道施設の耐震設計実務」、「施設（構造物）の設計事例と解説」について研修を実施した。

令和2年度第1回水道施設地震リスク管理検討委員会（12月18日）

任期満了に伴う委嘱後、初めて開催される委員会であるため委員長の互選が行われ、東京都大学の長岡教授が委員長に選任された。

その後、令和3年11月に熊本市で開催予定の「第12回日米台水道地震対策ワークショップ」の概要や熊本市との現在までの調整状況、及び今後のスケジュールについて事務局より説明を行い、審議・意見交換を行った。

また、コロナ禍での開催が予想されることから、延期の可能性についても説明を行った。



第5回水道施設管理業務評価マニュアル案改訂専門委員会（12月21日）

水道施設管理業務評価マニュアル案の改訂に係わる第5回委員会を開催し、CEI標準例及び評価事例の執筆内容、素案について審議を行った。

なお、次回委員会では、素案の内容について審議を行う予定である。

第34回広報専門委員会（12月22日）

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮し、書面にて開催した。

審議事項「正・副委員長の互選について」を審議した結果、委員長には、これまで副委員長であった東京都水道局サービス推進部サービス推進課長の金子委員を、このことにより空席となった副委員長には、大阪市水道局総務部総務課長の奥平委員をそれぞれ選任した。

次に、委員から提案された情報交換事項として「①お客さまとの双方向コミュニケーションについて」、「②局のロゴマーク等について」、「③SNSによる広報聴活動の運営や活用事例等について」、「④インターネット広告（リスティング広告、SNS広告など）をはじめとする広報媒体の活用について」、「⑤コロナ禍における水道水の安全性に関する広報について」、「⑥コロナ禍におけるイベント等の広報展開について」の情報交換事項回答集を作成し、各委員に配布した。

また、事務局から「第62回水道週間について」の報告を行った。

第257回衛生常設調査委員会（12月23日）

はじめに、厚生労働省の林水道水質管理官から、最近の水道水質管理の動向について、令和2年度外部精度管理調査や実地調査の実施状況、要検討項目である農薬類の目標値の見直し及びPFOS、PFOAと並ぶPFHxSの取扱いについて説明があった。その他、内閣府において検討が行われている大規模噴火時の広域降灰対策に関する情報提供があった。



次に、審議事項として、上水試験方法2020年版（案）の査読意見対応を上程し、異議なく了承された。

続いて、報告事項として、水道用薬品及び資機材の衛生性調査専門委員会で検討しているJWWA規格「水道用粉末活性炭」における2-MIB値の規格化に向けた測定方法について事務局より報告を行った。

最後に、各委員から近況報告及び意見交換を行った。

第991回会誌編集委員会（12月25日）

本誌1月号・2月号の編集方針、投稿原稿の査読、新規原稿の取扱い等について審議を行った。